

三井のリフォーム住生活研究所所長 西田恭子

どう出会い、はたらき、暮らすか

先日、一般社団法人住まいるの学校からモーニングセミナーの依頼があり、とても立派なタイトルを頂いた。

主題が「女性スペシャリストが語る私と住まいの仕事」で、副題に「どう出会い、はたらき、暮らすか」となっている。

主催者のご要望は、私の今までの経験やその中の失敗談を含めて話し、若い人の展望となるようにとのことだった。大変な使命を頂いたわけだが、私の経験がお役に立つのならと引き受けた。

私の職歴のなかで、三井のリフォームプランナーとしての仕事が一番長い。ゼネコンの設計部から設計事務所を開設し、その後三井のリフォームで働き、現在の研究所所長に至っている。「リフォームプランナーは私の天職」と語り、仕事に魅了されていたはずが、今は文字に囲まれた毎日を送っている。



然ながら

どこか他で経験を積んでいく必要がある。あり、大卒業と同時に、リフォームプランナーになれない。住宅設計のスキルがあり、即戦力となることが求められるのだ。

そんな私の経験談を聞きに来る方は、どんな方だろう？
ましてや出勤前の朝七時半からの有料セミナー。期待に応えられなかったら申し訳ない。

参加者は想像どおり若い女性達だった。住宅メーカーや設備メーカー系の方。設計事務所や建設会社で働く方々が多かったのだが、驚くことに、わざわざ群馬からこのセミナーのために会社を休んで来てくださった方もいた。

働く心構えと仕事の醍醐味、そしてピンチの乗り切り方をお話してから、後半は対話形式で質疑を受けた。最後は人生相談会に近

い場となった。

その後頂いたアンケートの感想は、「今できることをやり続けていけば良いかな、と今後の力づけになりました」「何事も財産になっていくのだということを感じました」「女性が多く働いている事を知る事も出来、自分自身への触発になりました」「建築、新築に限らず、もっと広い視野での形で仕事をしていきたいと思いましたなどだった。その人生に対する真摯な姿勢に、私自身の背筋が正されることになった会だった。

参加してくださった方々に書籍『リフォームで活躍する女性たち』(写真)をお渡ししながら、彼女たちの今後が広く開かれることを強く願った。



「この仕事は一度やったらやめられない！」

リフォーム設計の草分け的存在、西田恭子が語る、プランナーの仕事と魅力。リフォームプランナーになりたい人、わが家のリフォームをしたい人も必読の一冊

西田恭子氏のプロフィール「一級建築士。「三井のリフォーム」で設計を手がけ三五年。暮らしの創造に貢献する「三井のリフォーム 住生活研究所」の所長に就任。新聞・雑誌・書籍の執筆、各種セミナーで講演を行う。文化女子大学非常勤講師。日本女子大学住居学科卒。